

月報 岡崎の教育



9 月 号

昭和63年9月1日
発行 / 編集
岡崎市教育委員会

何みているの？
何を考えているの？

「フラフープができたよ。」と

喜びいっぱい目

友だちとけんかをして

大粒の涙があふれそう目

さか上がりができなくて

悔しさがこみあげている目

「どうしたら、よく飛ぶ飛行機

ができるかな？」と

真剣に考えている目

小さな瞳のなかに

大きな夢がまつてる

澄んだ瞳が

楽しい未来をみつめてる

ねえ、きみたち

今、何を見つめているの？

〔澄んだ瞳〕



(どろんこ遊び — 広幡幼)

— 教育随想 —

私の歩んだ道

教えること、育てること

宮田力松



一 教職生活五十五年

昭和九年県内の小学校教員になってから、今年で五十五年目を迎えました。このうちわけは小学校教員・校長十八年、中等学校・高校の教員・校長十二年、幼稚園長九年、県教委事務局職員十八年、県教委委員・委員長八年、大学教員五年（うち十八年は重複している年数）です。

県教委事務局職員は、指導関係の仕事で前半の九年間は指導主事、後半の九年間は課長・部長・所長でした。学校の指導関係がおもな仕事でしたから、県内の学校を訪問し、社会科の指導助言や学校経営について話し合いました。

指導助言は表看板で、前半の九年間は校長先生をはじめ、教育事務所次長さんや市の教育長さんに教わるが多く、後半の九年間は自分の意見もようやく固まり、学校経営や研修について、いくら

かお役に立つようになりました。

二 教えること—小学校で

私立の小学校へ勤務したのは六十歳の時でした。この学校では、校長が一年生から六年生まで隔週に「道徳」の授業を担当しました。授業には自信めいたものがあり、児童も学級担任の授業とは一味ちがった所があったとみえて、私の話にいい聞いていたように思いました。

六月はじめの月曜日、第一時限一年生の「道徳」の授業の時です。教室の前列にいた児童が突然立って、「校長先生、お話をもうあいたよ。」といい出しました。続いて二、三人の児童も同じことをいい出し、收拾がつかなくなりました。残りの時間は歌の稽古で終わりました。

授業の指導を本務としてきた私にとって、目が回るような出来事でした。あらためて、授業をすること、教えることの

むずかしさを知らされたことでした。

三 育てること—幼稚園で

幼稚園の生活は、小・中・高校とはちがいが、毎日が楽しい所であり、また怖い所でもありました。この幼稚園では、朝園児は母親といっしょに登園、正門付近で幼稚園の職員が園児を迎え入れます。きまったように、園児と職員、母親と

職員の間朝の挨拶がかわされ、いつもながら和やかな風情です。こうした冬のある朝、男の子が正門近くに立っていた私に、「園長、くそじじい。」と大声でいいます。なんでも、前日私に握手してもらえなかった子供のようです。あとで、その子の手をとって握手すると、両肩をふるわせて喜んでくれました。

私はそのとき、ここにもウソのいえない子供のいるのに気付きました。子供を育てることのむずかしさ、大切さを教えられたような気がしました。

四 教育は何かと問われて

教育とは、究極のところ教えること、育てることの二つに尽きると思っています。何のために問われると、「よく生きるために」と簡潔に答えます。私は、いま大学で授業を受持っているときどき幼稚園園児がいった「園長くそじじい。」の言葉を思い出して、授業の下調べを入念に行っています。

文字どおりじじいですが、今日も命がけで授業を続けています。

学校法人清光学園（岡崎女子短大）
教育 研究所 長

これからの書写

書写指導員

加藤 一彦



新指導要領では、国語科書写の時間が重視されている。小学校では、毛筆を特重視するとし、中学校でも、二・三年での時間数がはつきりとうち出されてきている。

美しい文字で書かれた板書は、みていて実に気持ちがいい。一年中、担任の先生の文字を見て生活する児童・生徒にとって、お手本となるような文字を書くのが教師として当然の義務である。それは、何も、書写の時間だけ心がけていけばよいというものではない。他教科でも、もっと広く、学校生活の全てに目を向けていかななくてはならない問題である。

ところで、最近、教育実習生の中にも、丸文字やくせ字を書く者がみられ、これで教師になったら……と考えさせられてしまう。ワープロをはじめハイテクの時代に、何を今さらと言う人がいるかもしれない。たしかに文字を書くことは難しいことである。しかし、「廃手苦」にな

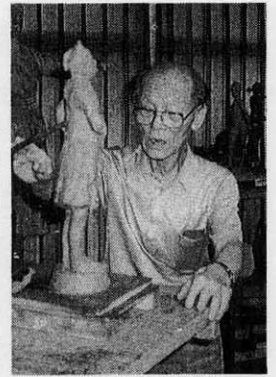


彫刻家

鈴木 基弘 氏

呼鈴を押して玄関へ入ると、そこは彫刻家のお住まい。数々のブロンズ像と共に、鈴木氏が温かく迎えてくださった。氏は、日展評議員・日彫運営委員という重責を務められる一方、後輩の指導もなさっておられる。

氏の作品は、岡崎城の鯉を初め、市内の各所にあり、学校では、附属小・三島小・男川小・南中などで見ることができ。この外、日本各地の数多くの学校からも頼まれ、御奉仕なさっておられる。早速、この道に進まれた動機を伺った。『小学校（附小）三年生の時に、『大きくなったら彫刻家にさせてくれ』と言



つたら、親父は、「お前みたいなやつは彫刻家になれやせんぞ」と言ったが、言い続けていたら許してくれた。」と、懐かしそうに話される。十九歳の時、美術学校へ進むにあたり、石屋さんである父親から一つの条件が出されたそう。『よく聞け。石という物は、春に種子をまき、秋に実るといふ物ではない。天が与えてくれた貴重な資源だ。取り尽くすと無くなってしまう。少量の原石を用い、技術で生きていけ。それを頭に入れて美術学校へ行け。』とおっしゃったそう。氏の父親のこの言葉は、石の町岡崎を支えてきた人だからこそ言えるのであろう。

氏は、ブールデルに師事した清水多嘉示氏から、美術学校で五年間学び、その後も清水氏から多くの事を学ばれたそう。応接間にある恩師清水氏の作品も見せていただき、ロダ



青城ノ詩

ン・ブールデン・清水多嘉示と、近代彫刻についてのお話は、この道五十年の芸術家としての深みを感じた。学校教育についてお尋ねすると、「絵でも粘土でも、人間形成に大切な教材ですよ。目に見えた物を素直に表現できる能力を小学校時代に身につけてやるのがいちばん大切なことであり、その子がいちばん幸せになるもどかと思えますよ。教師の色を教え子に一切着けてはいけませんよ。子供の色をよく見分けてあげなさい。」とおっしゃる。教育の本質をついた言葉である。

昨年、フフホト提携団員として行かれ、その時の少女の舞を「青城の詩」と題し、日展に発表されている。今秋は、「フフホトの芽」と題し、少女の姿を通して心の表現をしておられる。日展で作品を見せていただくのが楽しみである。

（生年月日 大正二年七月六日）
（住所 岡崎城西梅岡町山添五十九）

つてはならないのである。今後の書写指導に役立ててもらえたらという願いで、「書写の窓」（アイデア集）を発刊した。利用していただきたい。

黒ずんだハンカチ

社会科指導員

梶尾 長夫

K中のS先生は、中三の生徒を前に黒ずんだハンカチを取り出した。「はじめは真っ白だったんだよ。どうしてこんなに黒くなったかと思う。」生徒たちは隣同士、あちこちで話し合う。このハンカチは、国道一号線の中分分離帯の金網に一週間かけておいたものである。

変色していくようすを記録したVTRをみて、生徒たちはどよめく。単元「国道一号線と環境問題」の授業が実に活発に展開しはじめる。

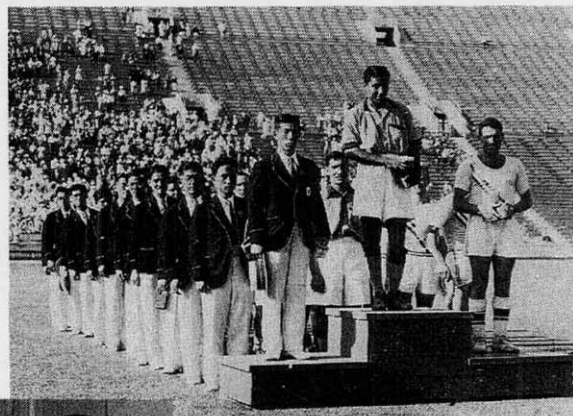
中学校では生徒が発言しない、とぼやかれる先生が多い。それがあたりまえと決め付けている先生もいる。何か寂しい話である。

確かに、教科書の中味を直接的に生徒に伝達し、獲得させることは可能である。しかし、それでは生徒は動かない。またいくら教え方がうまくても、閉ざされた心の生徒に向かつてはどうしようもない。K先生のような授業づくりの工夫と学級づくりの基盤が、どうしても必要にな

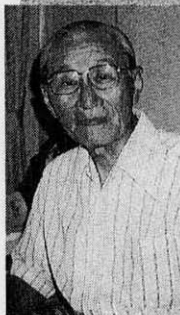
オリンピック



「ソウル五輪あと〇〇日」
五輪報道もいちだんと量を増し、その関心は高まってきた。
第二十四回ソウルオリンピックは、九月十七日に開会式。わが国からも数多くの選手が派遣され、力と技を競って、スポーツによる平和の祭典を賑わす。岡崎出身の中森・伊藤両選手の活躍が期待される。
郷土岡崎出身のこれまでの五輪選手はだれか。七人の皆さんから貴重な資料を快く借用することができた。ここにその一部を紹介し、栄光をたえて特集とした。



▲左右田秋男氏（福寿町）当時早大生
第10回ロサンゼルス大会（1932）
ホッケー競技2位（メダルは市体育館へ寄贈）
現在県アイスホッケー連盟副会長ほか
（前から6人目が左右田氏）



◀鈴木 弘氏（東京都大田区）当時日大生
第15回ヘルシンキ大会（1952）
水泳競技100M自由形、800MR各2位
第16回メルボルン大会（1956）水泳競技参加
現在日本通運関東支店営業部長（元能見町出身）
（表彰台2位が鈴木氏）

熱闘 熱演

今、感動の夏

夏の各種大会で大成果

七月二十一日から始まった夏の各種競技大会において、本市中学生の活躍は目を見張るものがあり、市・西三・県・東海・全国とどの大会にも「心」と「技」を十二分に発揮した。

その結果、県大会で団体競技四種目、個人競技六種目で優勝。さらに東海大会では、新香山中バレーボール男子の初優勝を始め、団体競技で三種目の優勝。また五種目で全国大会出場と過去最高の成果を収めた。

そして八月十八日から、東北各県で開催された「全国中学校選抜体育大会」では、常磐中男子軟式庭球、竜南中女子バレーボールが全国三位に輝いた。

《全国大会》

◇第三位

軟式庭球男子 常磐

山形市で行われた庭球は、

抜群のボールコントロールと

球際の強さで埼玉・芝東中、

兵庫・太子西中を連破。準決

勝に進出。福島・西郷第一中

とフルセット激戦の末、惜敗。

◇第三位

バレーボール女子 竜南

仙台市体育館で開催された、

バレーボール競技では、竜南

中が石川・鹿西中、茨城・古

河一中、香川・庵治中を連破。

準決勝埼玉・花栗中と対戦し、

惜敗。

◇第四位

陸上・三種競技

竹腰 瑞樹 矢作

《東海大会》

◇優勝

バレーボール男子 新香山

抜群の攻撃力で、三重・城

田中、静岡・大淵中、三重・

美里中を破り、優勝戦で本市

矢作中と対戦。フルセット激

戦の末、初優勝。

◇優勝

バレーボール女子 竜南

拾って、粘る「つなぎのバ

レー」で、三重・白鳥中、静

岡・榛原中、三重・鈴峰中に

危なげなく勝ち、決勝で静岡・

大井川中と対戦。一セットを

失ったものの、逆転で初優勝。

◇優勝

軟式庭球男子 常磐

岐阜・八百津中、静岡・湖

東中、愛知・豊川南部中、決

勝の静岡・長田西中と一セッ
トも落とすことなく完全優勝。

◇第二位

バレーボール男子 矢作

三重・小俣中、静岡・観山

中、愛知・港明中を連破。優

勝戦で新香山中と一進一退の

好試合を展開。惜敗。

◇第三位

バスケット男子 城北

正確なシュート力とチーム

ワークで、岐阜・日枝中に勝

ち、静岡・舞阪中と対戦し惜

敗。全国大会出場権をかけて

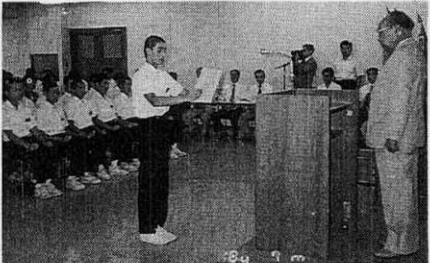
静岡・雄踏中と対戦。四十二

対三十一で出場権獲得。

◇優勝

軟式庭球男子 常磐

向野・水野組



8/6市代表選手激励会 (東海・全国へ128名)

◇第二位

陸上・一年一〇〇M

西畑 匡

陸上・男子低学年四〇〇MR

竜南中学校チーム

◇第四位

陸上・三年一〇〇M

美川

陸上・二〇〇M

六ッ美

陸上・一年一〇〇M

六ッ美

《愛知県大会》

◇優勝

軟式庭球男子 常磐

バレーボール男子 矢作

バレーボール女子 竜南

バスケット男子 城北

◇第二位

バレーボール男子 新香山

バレーボール女子 竜南

◇第三位

バスケット男子 甲山

バスケット女子 竜南

◇優勝

陸上・三〇〇〇M

福岡

陸上・四〇〇M

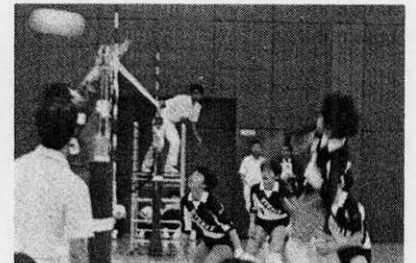
常磐

陸上・二〇〇M

六ッ美

陸上・一年一〇〇M

竜南



全国大会女子バレーの熱戦

水泳・二〇〇M平泳ぎ

仙石 祐嗣 矢作北

水泳・一〇〇M自由形

北埜 智信 常磐

◇第二位

軟式庭球男子 東海

中川・小林組

◇第三位

軟式庭球男子 常磐

斉藤・飯田組

軟式庭球女子 城北

船橋・峯沢組

陸上・三年一〇〇M

美川

陸上・八〇〇M

常磐

陸上・走り高跳び

常磐

陸上・男子低学年四〇〇MR

竜南中学校チーム

陸上・砲丸投げ

安藤 千晴 矢作

水泳・二〇〇M平泳ぎ

山本 淳一 矢作

水泳・男子四〇〇MR

矢作北中学校チーム

水泳・二〇〇Mバタフライ

足立 真弓 矢作

水泳・一〇〇M自由形

小里日奈子 葵

軟式庭球女子

福岡

パレーボール男子

葵

パレーボール男子

城北

パレーボール女子

南

パレーボール女子

南

輝く偉業

山中小男子パレー

全国制覇

大会は、八月十三日から十六日まで、東京の駒沢体育館をメイン会場に開催された。

サーブとスパイクに抜群の力

を持つ山中小は、予選リーグ、

決勝トーナメントで対戦した各県の強

豪をいずれもストレートで破り、

青森代表の稲垣少年クラブと決

勝て対戦。一セット目、立ちあが

りに苦しんだものの逆転で乗り

切るとあとは優勝にまっしぐら

ストレートで初優勝に輝いた。

また、本大会初出場の上地小

女子パレーボールチームは、予

選リーグを抜け出たが、決勝ト

ーナで破れベスト十六に進んだ。

全国学校音楽コンクール

南中 県大会で銅賞

昭和六十三年、第五十五回

NHK全国学校音楽コンクール

愛知県大会が、去る八月二十四

日愛知県文化会館で開催された。

その結果、中学校の部で南中

校が銅賞を獲得した。

県大会の中学校の部には西三

河地区の他に東三河、名古屋、

尾張の四地区から計十校が出場

し、金、銀、銅、それぞれ一校

ずつが選ばれた。また、小学

校の部には広幡小学校が出場し、

健闘した。

地区予選からの主な結果は次

のとおりである。

■西三河地区大会

(小学校の部) (八月四日)

・金賞 広幡小学校

・銀賞 南中学校

・銅賞 矢作中学校

常磐中学校

岡崎市内からの参加小中学校

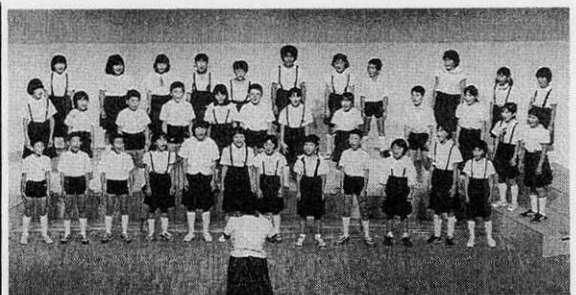
数は、小学校八校、中学校十三

校で、今年は中学校の活躍がめ

だった。

■愛知県大会 (八月二十四日)

・銅賞 南中学校



昭和六十三年、愛知県吹奏楽コンクール県大会

竜美丘小・城南小・竜海中

堂々の金賞

今年の愛知県吹奏楽コンク

ルは、小学校の部が八月七日、

常滑市民文化会館で、中学校の

部が八月十一、十二日、岡崎市

民会館で開催された。

小学校の部には竜美丘小学校

と城南小学校が出場し、共に金

賞を受賞した。さらに、竜美丘

小学校は十一月六日に岩手県で

開催される、全国小学校バンド

フェスティバルに東海地区代表

として参加する。竜美丘小学校

は今年で連続七回の出場となる。

中学校の部の竜海中学校は、

過去数回、県大会に出場して

おり、本年度念願の東海大会出場

がきまった。東海大会は九月十

一日、静岡県の沼津市民文化セ

ンターで開催される。

地区大会からの主な結果は次

のとおり。

■西三河地区大会

(小編成の部)

・金賞 矢作中学校

(大編成の部)

・金賞 竜海中学校

・銀賞 城北中学校

岡崎市からは、小編成の部へ

八校、大編成の部へは五校が出

場した。

■愛知県大会

(小編成の部)

・銅賞 矢作中学校

(大編成の部)

・金賞 竜海中学校

竜海中学校吹奏楽部は、中部

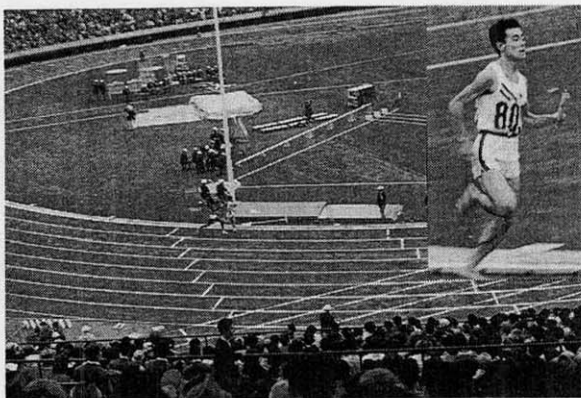
日本吹奏楽コンクール(中日新

聞主催)でも優勝し、十月に行

われる本大会に出場する。



▶天野 義裕氏(羽根北町)
 当時東京教育大生
 第18回東京大会(一九六四)
 陸上競技千六百米
 リレー(第三走者)
 出場
 現在愛教大教授



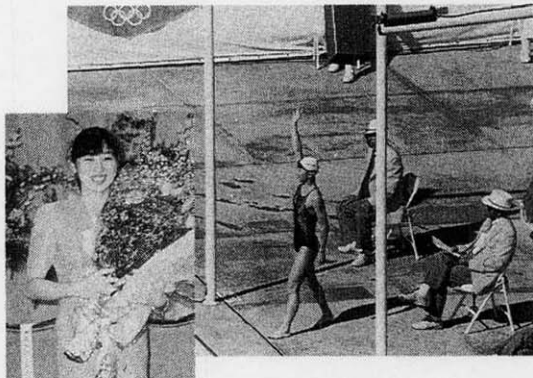
◀成田(岡田)昌憲氏(東京都世田谷区)
 当時三洋電機製作所勤務(松本町出身)
 第20回ミュンヘン大会(1972)
 カヌー競技カヤックシングル出場
 現在大正大学カヌーコーチ、大吉寺住職



古田(三浦)直子氏(横浜市南区)
 当時金城学院高校生(美合町出身)
 第21回モントリオール大会(1976)
 水泳競技100M、200M背泳ぎ出場
 現在スイミングスタジオで水泳コーチ

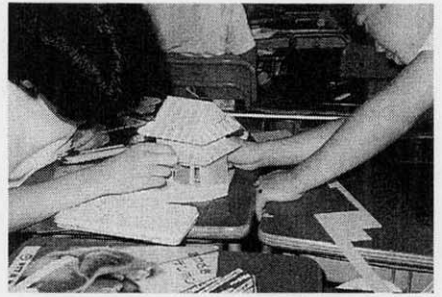


中森智佳子氏(名古屋市長東区)
 当時淑徳高校生(伊賀町出身)
 第23回ロサンゼルス大会(一九八四)
 水泳競技 百米・二百米・四百米自由形
 四百米自由形リレー出場
 第24回ソウル大会(一九八八)水泳競技出場
 現在愛教大生(三年)



◀伊藤(山内)佳子氏(海部郡弥富町)
 第24回ソウル大会(1988)
 射撃競技スポーツピストル出場
 現在県警本部教養課勤務(美合町出身)





楽しい歴史学習

北野小 黒柳 喜一

風の強い日、日名橋の近くの川原。スコップとバケツを使って、六年生全員が汗を流しながら砂の古墳づくりに励んだ。風に飛ばされた砂が足に当たって、

「いたい。いたい！」と叫びながらもがんばる子。「どつてもえらい。昔の人は、よくこんな大きな古墳を作ったね。」

と、昔の人の苦労を実感する子。作り始めて二時間半後、日名橋の上から古墳を眺めて、「わあ、すごい。」と喜んでる子たち。

「なあんだ。あれしかなかったのか。」と悔しがっている子……。児童は、古墳づくりに必要の労働力が必要であることを身を持って体験し、そのスケールの大きさと権力とを結びつけて考えることができた。

また、北野魔寺の模型づくりにも、児童が大変喜んで取り組んだ。「自分たちの学区にありながらどんな寺だったのか、よくわからなかったもので、いろいろ調べて、うまく作りたい。」という意欲的な発言が多かった。さっそく、図書館や家庭の本などで調べ、四天王寺式伽藍配置が分かり、約千分の六の模型を作ることにした。

放課も忘れて、真剣な眼差で取り組む姿が印象的であった。「昔の人はこんなになりっぱなしを建ててすごい。どのように技術を身につけたのだろう。」児童の体験を通して生まれた考えが、次々にだされた。各班の完成した模型を並べた。「こんなりっぱな寺が学区にあったなんて、信じられない。今、見られたらなあ。」と北野魔寺が実感できて、身近に感じ、大切にしようという気

持ちも育った。そして、物部氏の権力の大きさや建築技術から、大陸文化の吸収に積極的だった聖徳太子にも結びついた。体験することによって、歴史がよくわかり、楽しいと思う児童が増えてきたようだ。「先生、社会が楽しくて好きになったよ。」その一言がうれしい。次は、粘土で埴輪づくりに挑戦。



はそり炊飯 in Camp

竜南中 神谷あけみ

六月七日、晴天。暑いがクーラーの類はない。ピッピッと鳴る電子音とコマ送りのスリリングな映像が、目や頭を刺激する遊びも。ここは少年自然の家。一年生がきょうから三日間、貴重な体験学習をする場なのだ。

山には下界で味わえない苦勞と喜びがある。その中で「食」の分野が占めるウェイトは、期待度も時間的な面でもかなり高いように思う。さて、その目玉だが、今年には既に「はそり」と決まっている。いわゆる同じ釜の飯という訳。しかし、生徒はもちろん私自身も、はそりなんていうものには、PTAのお母さん方がおしるこや甘酒を作った下さるのをありがたくいただく程度のつき合いしかない。食事担当の私には、正直言っちゃかなり不安なテーマだった。

そこで、焼き物はだめだの、栄養価や四十数人の分量を考えよ云々と、指導やら御託だかを並べたところ、各学級で、みそ煮込みうどん、ミックス雑炊、ラーメン、ぶた汁等のメニューが決まったのである。

ウォークラリーもほぼ終わり、いよいよ、クラスからよりすぐった「はそり班」の出番だという時に、雨が降り出す山ならではの大作となった。精銳にしてはおぼつかない手元が気になって、ついつい我がクラスの流し場にいると、やはり他の子も雨と食事の行き先が心配なのか、よく顔を出す。来たついでにちよつと仕事を頼むと、喜

んで居ついてしまったY男。ふだんは目立たない乙女のT子は、はそり班で活躍中。家で台所によく立つらしく、言われなくても次にやることわかってるから、てきぱき動く。身軽なF男らがテントと流し場を往復しては、道具の調達と連絡を一手に引き受けている。かまどの前で、煙・すす・雨と闘いながら真つ赤な顔をして火をくべ続けるチームがある。パソコン大好き少年も加わっている。学年目標の「自主・協力・努力」は、ここでも立派に達成できた。

今や、ガスや電気のおかげで不自由を知らずにすむ。しかし、学級が団結して作ったあのあつあつのぶた汁の味は、いつまでも忘れないでいてほしい。



お知らせ



■日本近代工芸の先覚者
藤井達吉展

9月21日(水)～10月2日(日)
開館午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

休館日、月曜
会場 岡崎市美術館
電話 514280
※入場無料

学校環境緑化コンクール

特選 県知事賞常磐中学校

八月二十九日、昭和六十三年
度愛知県学校関係緑化コンクールの
入賞校が決まった。

その結果、「みどりに学び、
緑でつくる生徒の和」をテーマ
に掲げた常磐中学校が、見事特
選に選ばれ、全日本学校関係緑
化コンクールへ応募する資格を
得た。

常磐中学校の緑化活動の特色
は、次の通りである。

- ・ふれあいの森づくりを通して
勤労奉仕体験、および地域緑
化の推進
- ・常中遊歩道を活用した自然と
のふれあい学習
- ・緑の歌、緑化クイズ、一人一
樹活動を通して、緑化思想の
高揚を図る

その他の入賞校は次の通り。

また、昨年に引き続きツバメ
の営巣調査をし、昨年と同数の
十六軒の営巣を確認した。

昨年引き続きツバメの営巣調査をし、昨年と同数の十六軒の営巣を確認した。昨年に引き続きツバメの営巣調査をし、昨年と同数の十六軒の営巣を確認した。昨年に引き続きツバメの営巣調査をし、昨年と同数の十六軒の営巣を確認した。

- ▽特選 県緑推会長賞 大門小
- ▽入選 県知事賞 矢西小
- 県教委賞 緑丘小
- 県緑推会長賞 梅園小

- 県鳥獣保護実績発表大会
生平小学校
県教委賞 東海中学校

八月十九日(金)県勤労会館で、
県鳥獣保護実績発表大会が開催
され、生平小・東海中の両校が愛
知県教育委員会賞に選ばれた。
両校の発表内容は次の通り。

▽生平小学校
「ふるさとに学び、ふるさと
を守る愛鳥活動」
生平学区の獣を調査し、ハク
シピン、アナグマ等十五種の生
息を確認した。

■少年の主張県大会

電海中和田美穂さんが優秀賞
六十三年度少年の主張県大会
が八月十九日(金)、海部郡蟹江町
の蟹江中央公民館で開かれた。
和田美穂さんは、交流学級で
接した盲学校の生徒が、かすか
に見える眼で真剣に学ぶ姿に心
を打たれ、そのことを「目の見
えない彼女の心」と題して発表
し、優秀賞に選ばれた。

●市長杯総合成績

種目	優勝	2位	3位	4位	5位	6位
男子	矢作	竜海	矢作北	甲山	城北	東海
女子	矢作	矢北	南	東海	竜南	葵
男子	矢作	矢北	竜海	東海	竜南	甲山

●岡崎市小学校球技大会成績

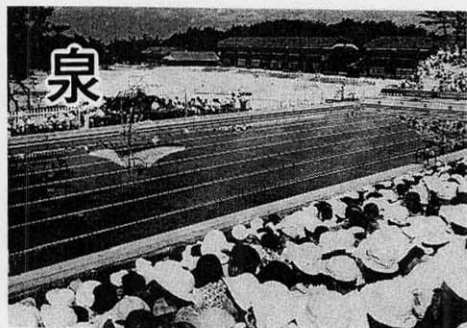
種目	性	優勝	第2位	第3位
ソフトボール	男	川六	名美	竜美
	女	川六	名美	竜美
バレーボール	男	山中	大樹寺	大樹寺
	女	上地	大樹寺	大樹寺
バスケット	男	大樹寺	緑丘	緑丘
	女	緑丘	上地	上地
サッカー	男	細川	小豆坂	小豆坂
	女	細川	小豆坂	小豆坂

●第26回 岡崎市小学校水泳競技大会成績

種目	優勝	2位	3位	4位	5位	6位
男子	矢作北	羽根	附属	北野	本宿	梅園
女子	附属	緑丘	大門	三島	根石	矢作東

●第41回岡崎市中学校市長杯総合体育大会兼西三河中学校選手権大会岡崎・額田支所予選会成績

種目	性	優勝	2位	3位	4位	5位	6位
軟式野球	男	竜海	甲山	福岡	幸南	南	
	女	幸田	東海	城北	北	南	
ソフトボール	男	美川	竜南	葵	城北	北	
	女	竜南	美川	新香山	北	北	
卓球	男	幸田	幸田	常磐	河合	磐合	
	女	幸田	幸田	常磐	河合	磐合	
バレーボール	男	矢作	新香山	葵	城北	北	
	女	竜南	南	竜海	矢作	田	
バスケット	男	城南	甲山	竜海	幸田	田	
	女	竜南	葵	六ッ美	幸田	南	
剣道	男	幸田	竜南	東海	福岡	幸南	
	女	幸田	竜南	福岡	幸南	南	
体操	男	葵	竜南	竜海	竜海	矢作	
	女	竜南	竜南	竜海	竜海	矢作	
新体操	男	竜南	竜南	竜海	竜海	矢作	
	女	竜南	竜南	竜海	竜海	矢作	
軟式庭球	男	常磐	幸田	東海	美川	川	
	女	幸田	福岡	甲山	北野	田	
水泳競技	男	矢作	矢作	葵			
	女	矢作	矢作	葵			
サッカー	男	六ッ美	竜南	福岡	甲山	山	
	女	六ッ美	竜南	福岡	甲山	山	
弓道	男	幸田	幸田	額田	A	幸南	
	女	幸田	額田	幸田	B	幸南	
陸上競技	男	幸田	額田	幸田	川	川	
	女	幸田	額田	幸田	川	川	



葵中学校

50メートル 公認プール

昭和二十四年六月、葵中学校プール建設の地響きが起こった。敗戦後まもない国民が立ちあがろうとしていた時代であり、湯川秀樹博士が日本人で初めてノーベル賞を受賞した。また、全米水上選手権大会で、古橋・橋爪選手らが三十六もの新記録を樹立した年でもある。

その事業であった。工事はもっぱらシヤベルやトロッコによる人力工事であり、人夫に交じって生徒も、毎日交替で資材運びや基礎の栗石並べを手伝った。一年二か月余りをかけて二十五年八月完成。同九月一日からは慶応大学水泳部の合宿も行われた。日本水連からの公認も降り、二十六年八月十六日、古橋選手を招いての完成記念式も盛大に行われた。

四十一年近く過ぎた現在もなお童心の夢をふくらませる、岡崎が誇る五十メートルプールである。

・表紙写真
・表紙詩
・カット

広 幡 幼
大樹寺小

簡 井 治 子
本 間 和 代
山 本 健 治

この本を

*鳩の橋	小笠原 忠
竹内書店新社	¥ 800
*生き残る道を探せ	邱 永漢
リクルート出版	¥ 980
*春日局	堀 和久
文芸春秋	¥1200
*のはらうた I・II・III	工藤直子
童話屋	¥各 950

*雪はよごれている 澤地久枝 ¥1200
日本放送出版協会

昭和史の謎といわれる二・二六事件の未公開資料にもとづいた書である。

著者はNHK特集「二・二六事件 消された真実—陸軍軍法会議秘録—」の番組制作プロデューサーと匂坂家を訪れ、そこに残る匂坂春平（当時特設軍法会議主席検察官・故人）の資料に接した。

事件の消された部分に光があたった資料であると著者が述べているように、本書は軍上層部の事件への関与が読者を引きつける。

萩の葉のそよぐ音こそ秋風の人知らるる始なりけれ（紀貫之）
萩は、原野や水辺に自生し、すすきに似た多年草。作者は、萩の葉にそよそよとさやぐ風音に秋の到来を感じている。自然のわずかな移ろいをも逃さない先人の鋭い感覚に驚く。萩と萩を見違える己の鈍感に嘆く。

始業式、みんな揃って出席、まつ黒に日焼けした顔の中の目と白い歯が笑っている。そんな光景を想像すると、ひとりでに微笑んでしまう。「外で元氣よく遊んでいますか」出校日の度に子どもたちに問いかけてきた。「先生あのね。わたし、だいたい黒くなったよ」A子からの便りが届いた。

シ オ ス ア

新しいテレビを購入した。リモコンスイッチで、「ミュート」というボタンがある。テレビは宣伝になると音量が気になる。購入以来、コマージュナルになるとこのボタンを押して無声にしている。

二学期が始まった。先生の話に、子ども自身がミュートボタンを押してしまわないよう工夫したい。

鈴木基弘氏のお宅を訪ねた。玄関にも応接間にも鳳来寺百合が花瓶一杯に生けられていた。氏は、百合の花がお好きである。それを知った知人が、毎年、届けてくださるそうだ。その好意が見事に生かされている。私も教室に届いた花を心をこめて飾り、子どもたちの好意に答えてやりたい。